

## 資料 2 教育を取り巻く社会経済情勢の変化

資料 2 - 1 人口減少・少子高齢化の進展

資料 2 - 2 雇用環境の変化

資料 2 - 3 家庭環境の変化

資料 2 - 4 新型コロナウイルス感染症による生活の変化

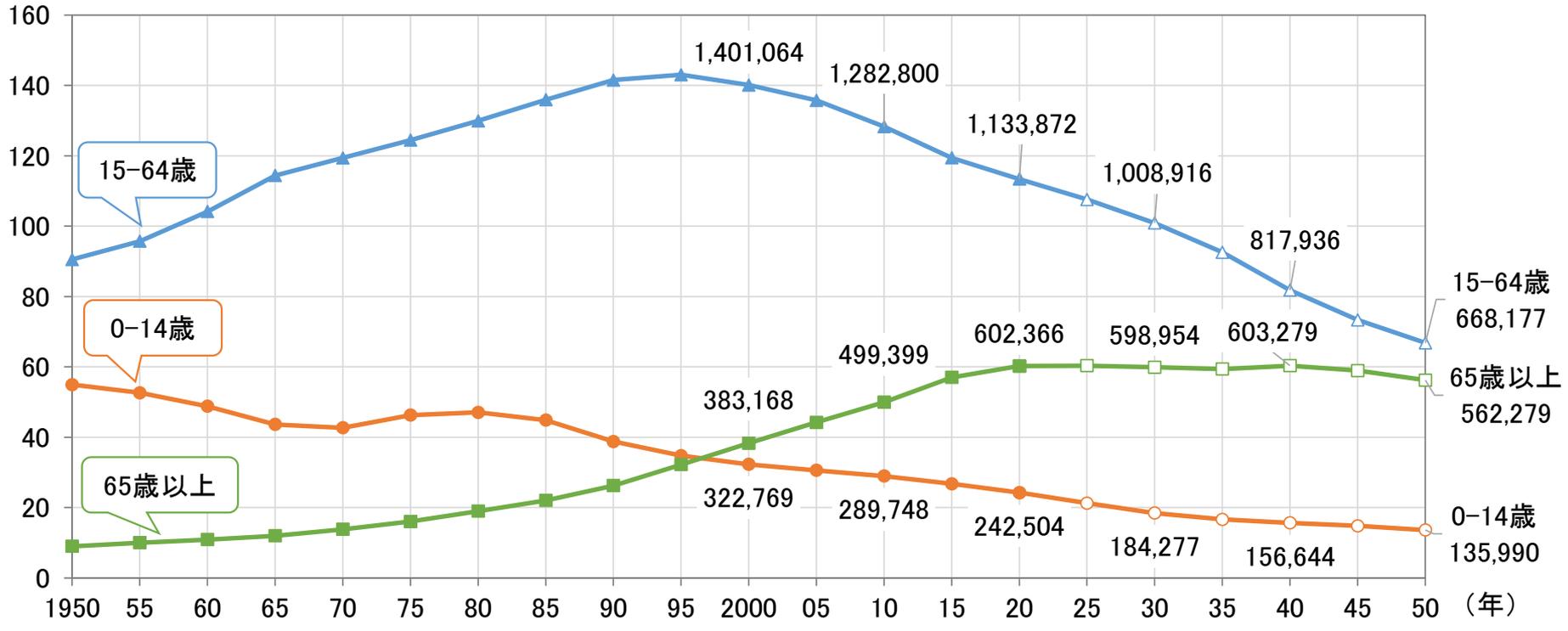
資料 2 - 5 デジタル化の進展

# 資料 2 - 1 人口減少・少子高齢化の進展

○年少人口（0～14歳）は1980年以降、生産年齢人口（15～64歳）は1995年以降減少。  
 ○今年誕生した子ども達が成人する2040年には、年少人口は現在の約2/3、生産年齢人口は約3/4。

## 岐阜県

年齢3区分別人口の推移(岐阜県)



出典:実績値は総務省「国勢調査」、推計値は岐阜県政策研究会人口動向研究部作成

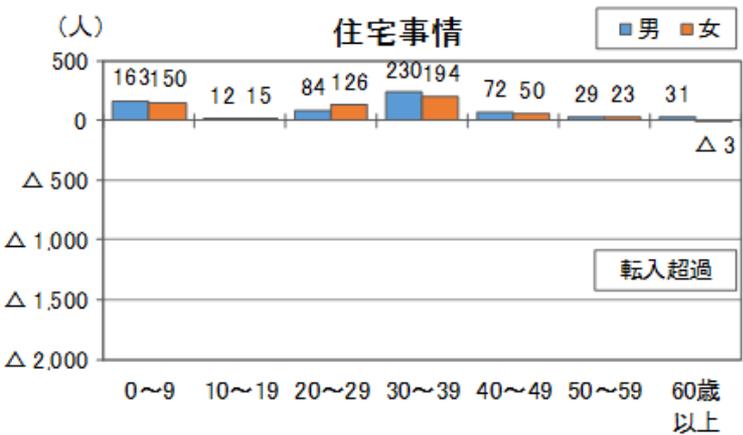
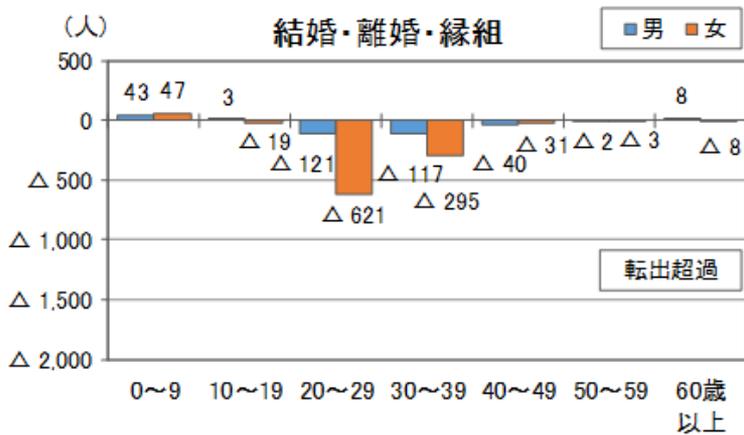
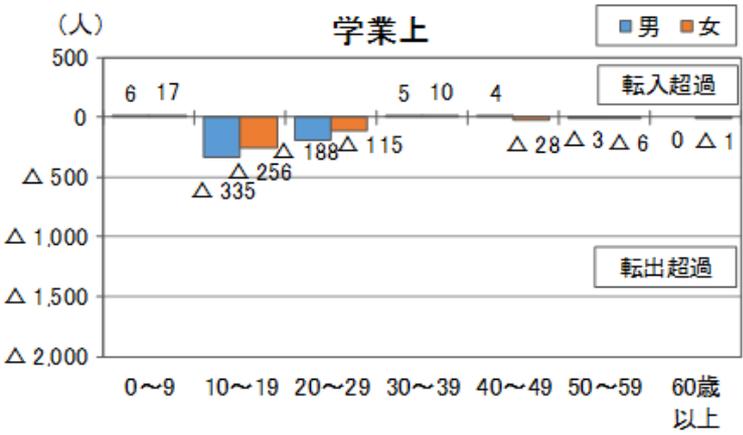
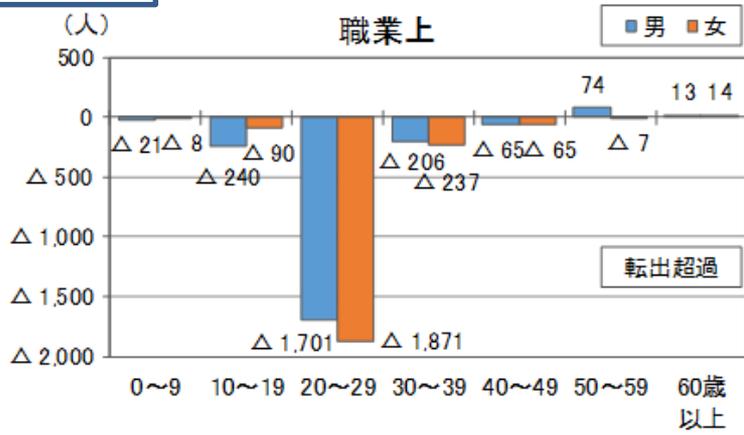
- ◆少子高齢化の中、子どもたち一人ひとりの個性や能力を存分に発揮させること。
- ◆地域の人口が減少する中、地域経済・社会を支えることができる人材を育成すること。

# 資料 2 - 1 人口減少・少子高齢化の進展

○岐阜県では、主に20代から30代の若者が県外へと流出する傾向が続いている。  
 ○主な理由は、「職業上の理由」であり、移動先の約4割が愛知県となっている。

## 岐阜県

主な移動理由でみた世代別日本人の社会動態(岐阜県 2021年)

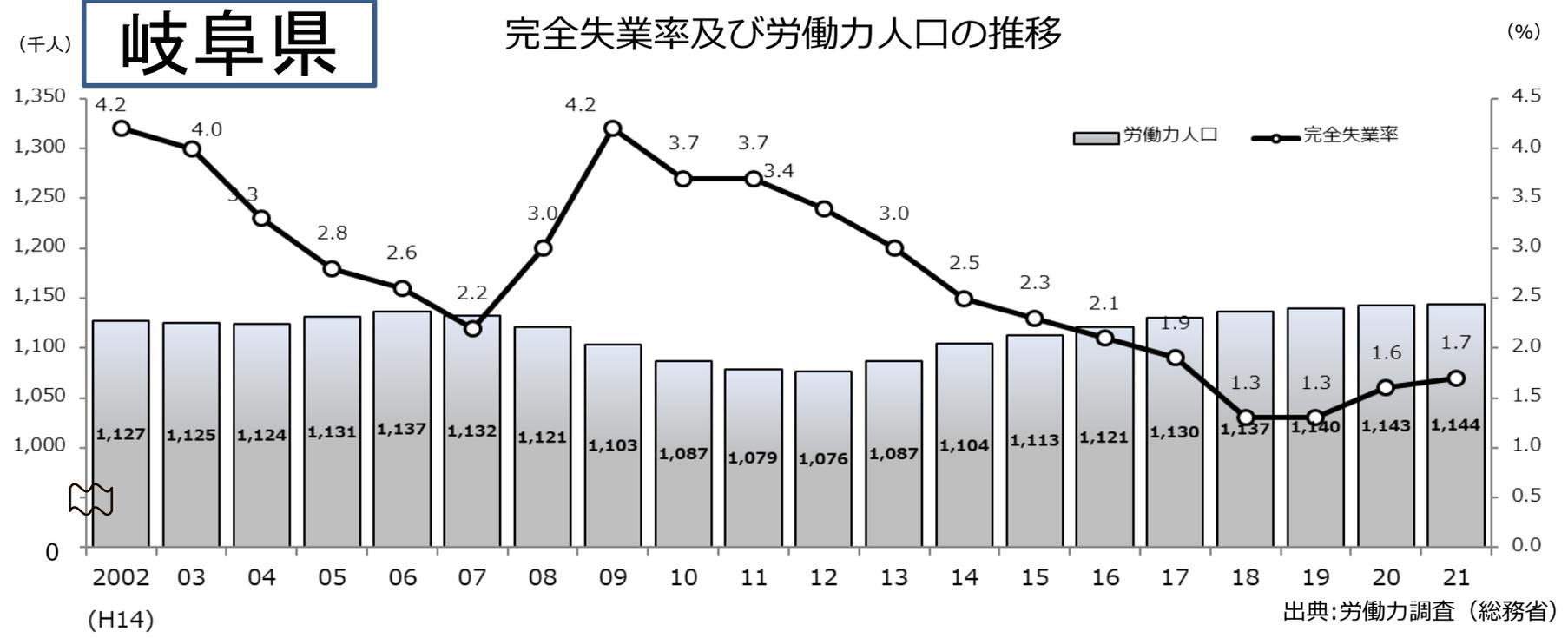


出典:岐阜県「岐阜県人口動態統計調査」 ※社会動態=転入者数-転出者数

◆ふるさとの自然や文化等をよく知り、自分が活躍する将来像を描けるようにしていくこと。

# 資料 2 - 2 雇用環境の変化

○労働力人口は回復傾向にあり、完全失業率は2019年以降、再び増加に転じている。  
 ○若年雇用者（15～24歳）の非正規雇用率は約4割を占め、雇用形態も多様化している。



年齢	正規	非正規	(参考)仕事が主な者
15～24	57.5%	42.4%	72.3%
24～60	69.7%	30.3%	83.9%
60～	28.6%	71.4%	73.9%

出典:就業構造基本調査(総務省)

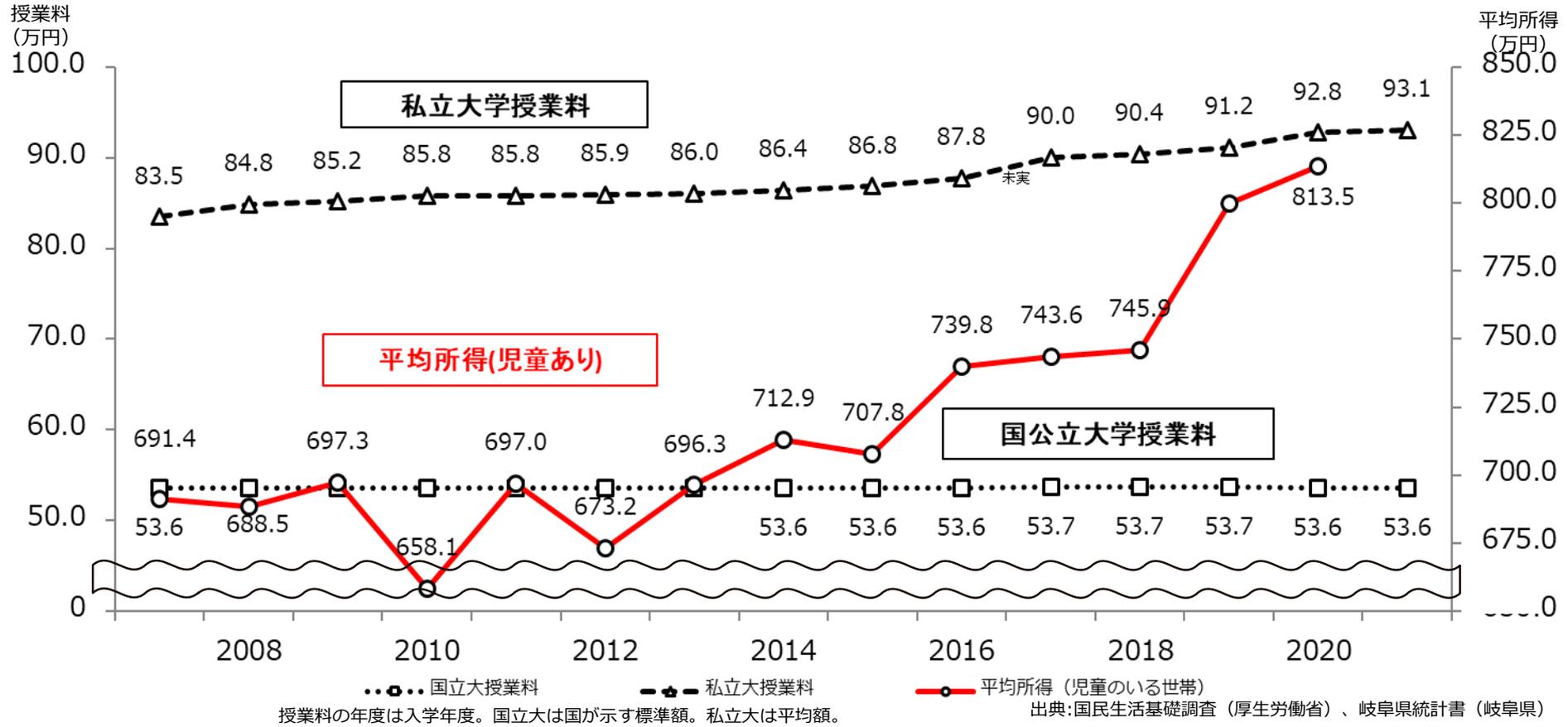
- ◆一人ひとりが自己の生き方や働き方について考えを深め、職業生活や日常生活に必要な知識・技能を主体的に身に付けること。
- ◆多様な職業生活に必要な知識や技能や、自らの職業人生を切り拓いていく原動力を育成すること。

# 資料 2 - 3 家庭環境の変化

- 児童のいる世帯の平均所得は増加。国立大の授業料はここ10年変化していないが、私立大は増加傾向。
- 家庭の社会経済的背景と子どもの学力には相関関係がみられ、家計所得が高いほど四年制大学への進学率も高くなっているなど、経済的な格差は、子どもの進路にも大きな影響を与えている状況。

## 全国

### 児童のいる世帯の平均所得と大学授業料の推移



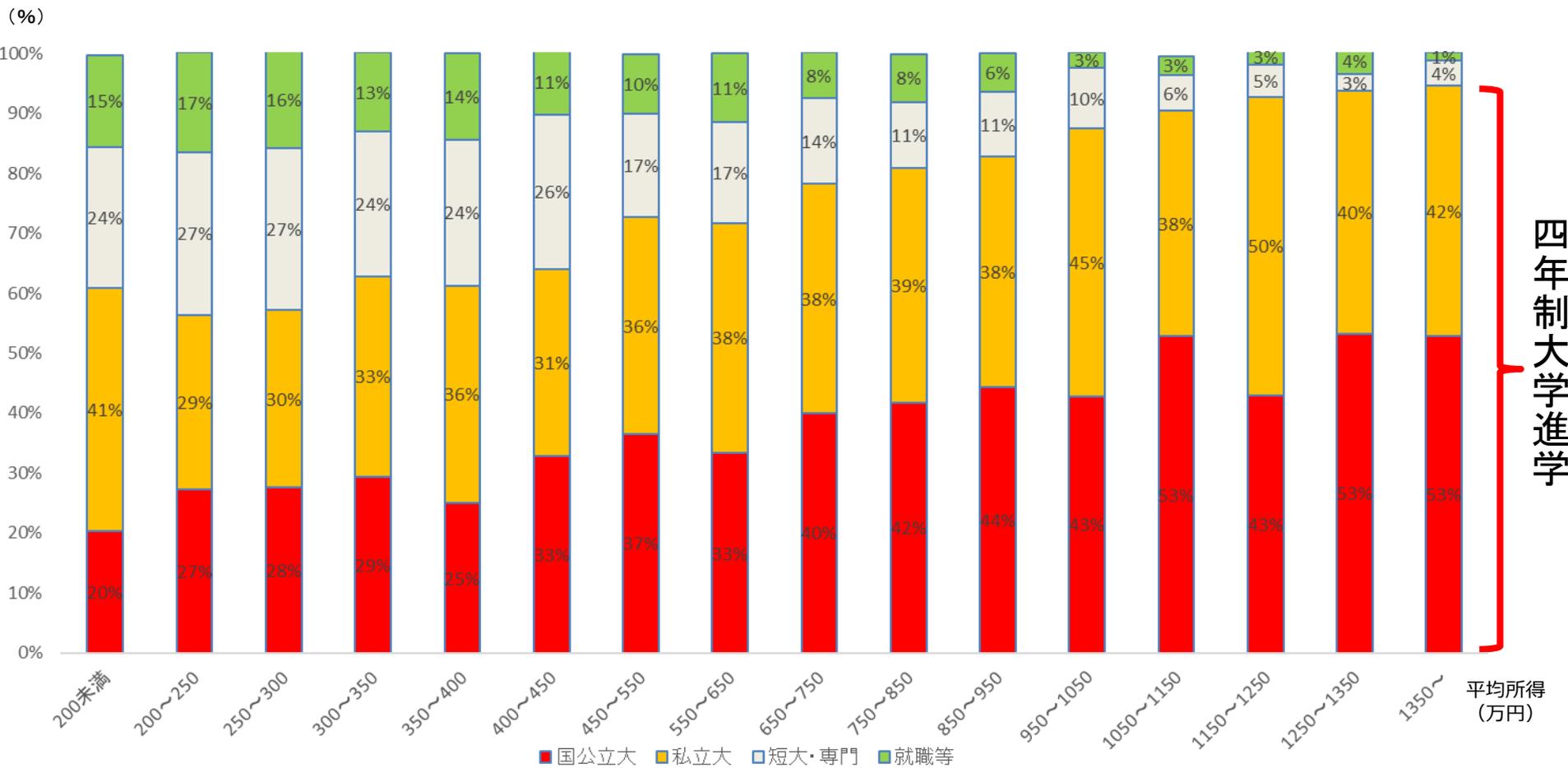
◆家庭環境の変化 (所得格差の拡大) が、教育格差につながらないように、すべての子どもが公教育を等しく受けることができる教育環境をつくること。

# (参考) 世帯収入と高校卒業後の進路

○家庭の世帯所得と子どもの学力には相関関係がみられる。  
所得が高いほど大学への進学率も高まっており、経済的な格差は、子どもの進路にも影響を与えている。

全国

## 家庭全体の年間世帯収入と高校卒業後の予定進路



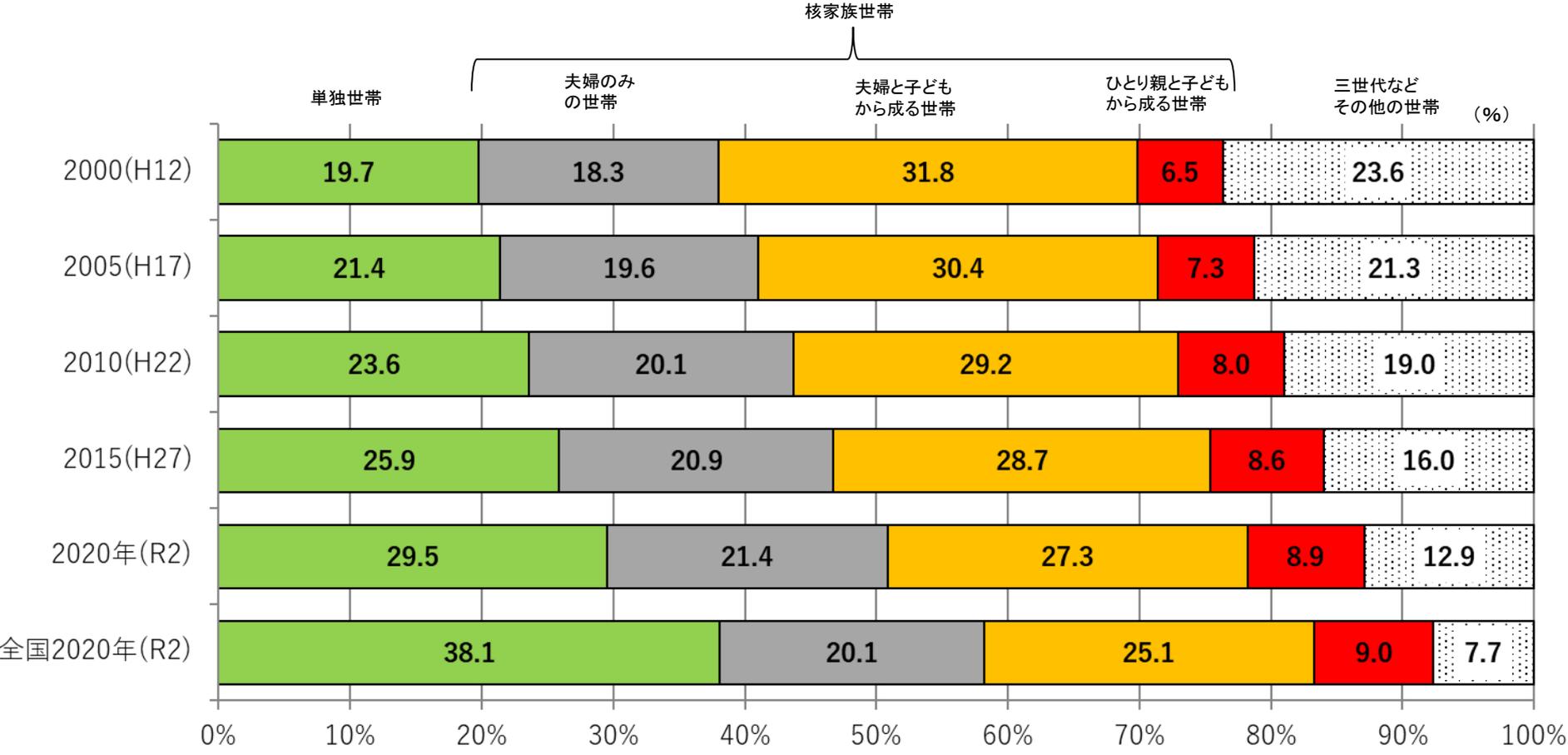
出典：文部科学省「高校生の進路に関する保護者調査」（2021年度）

# 資料 2 - 3 家庭環境の変化

○子どものいる世帯は減少傾向にあるが、ひとり親世帯は確実に増加している。

## 岐阜県

### 一般世帯の家族類型別割合の推移



【出典】: 国勢調査(総務省)

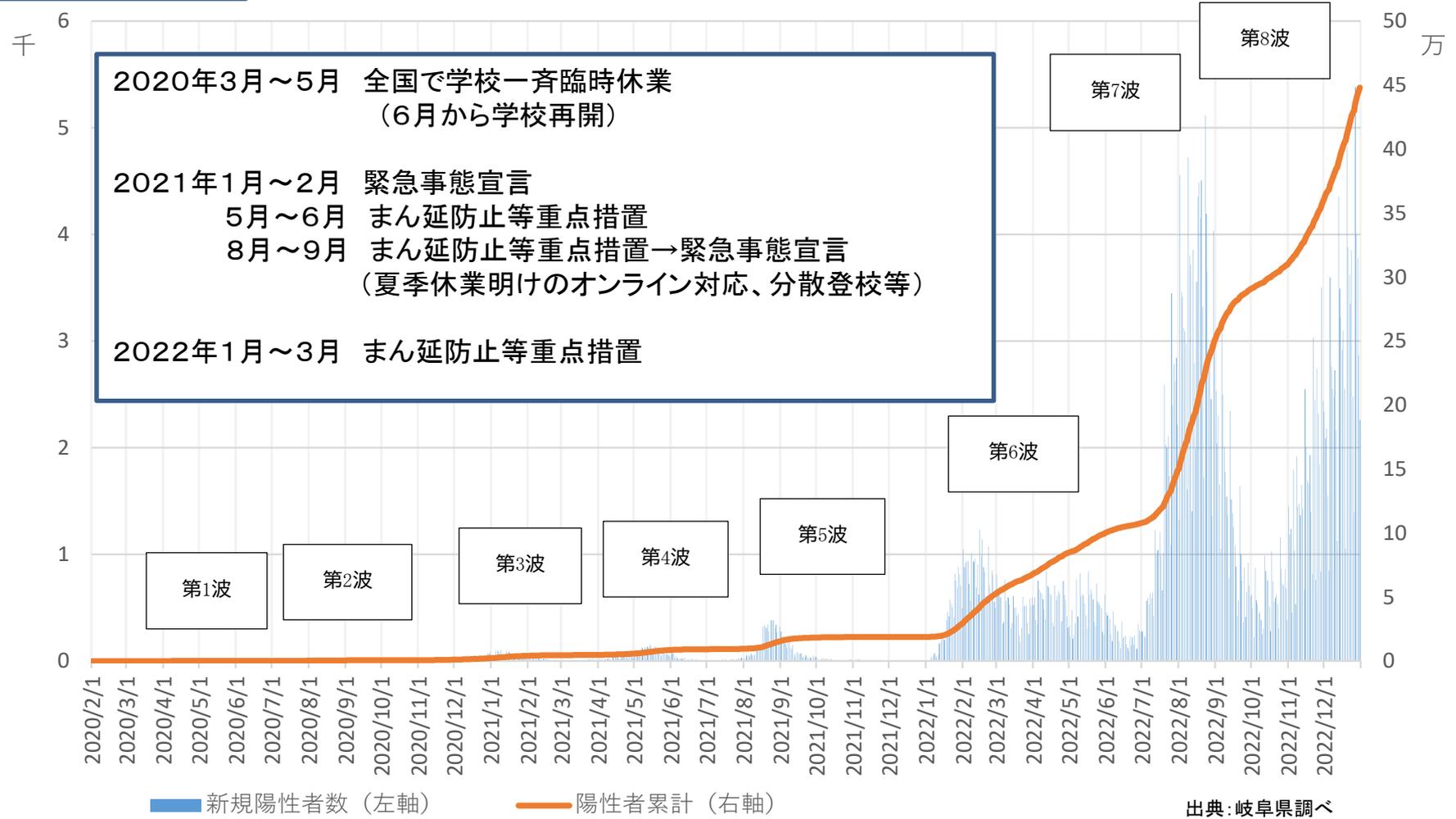
◆ひとり親世帯が増加する等、家庭環境の変化に対応すること。

# 資料 2 - 4 新型コロナウイルス感染症による生活の変化

- 新型コロナウイルス感染防止対策のため、感染状況に応じて感染リスクが高まる活動を回避してきた。
- 特に令和2年度は、学校行事を大幅に縮小するなど、体験活動の機会が減少した。

## 岐阜県

### 新型コロナウイルス感染症新規陽性者数の推移(岐阜県)



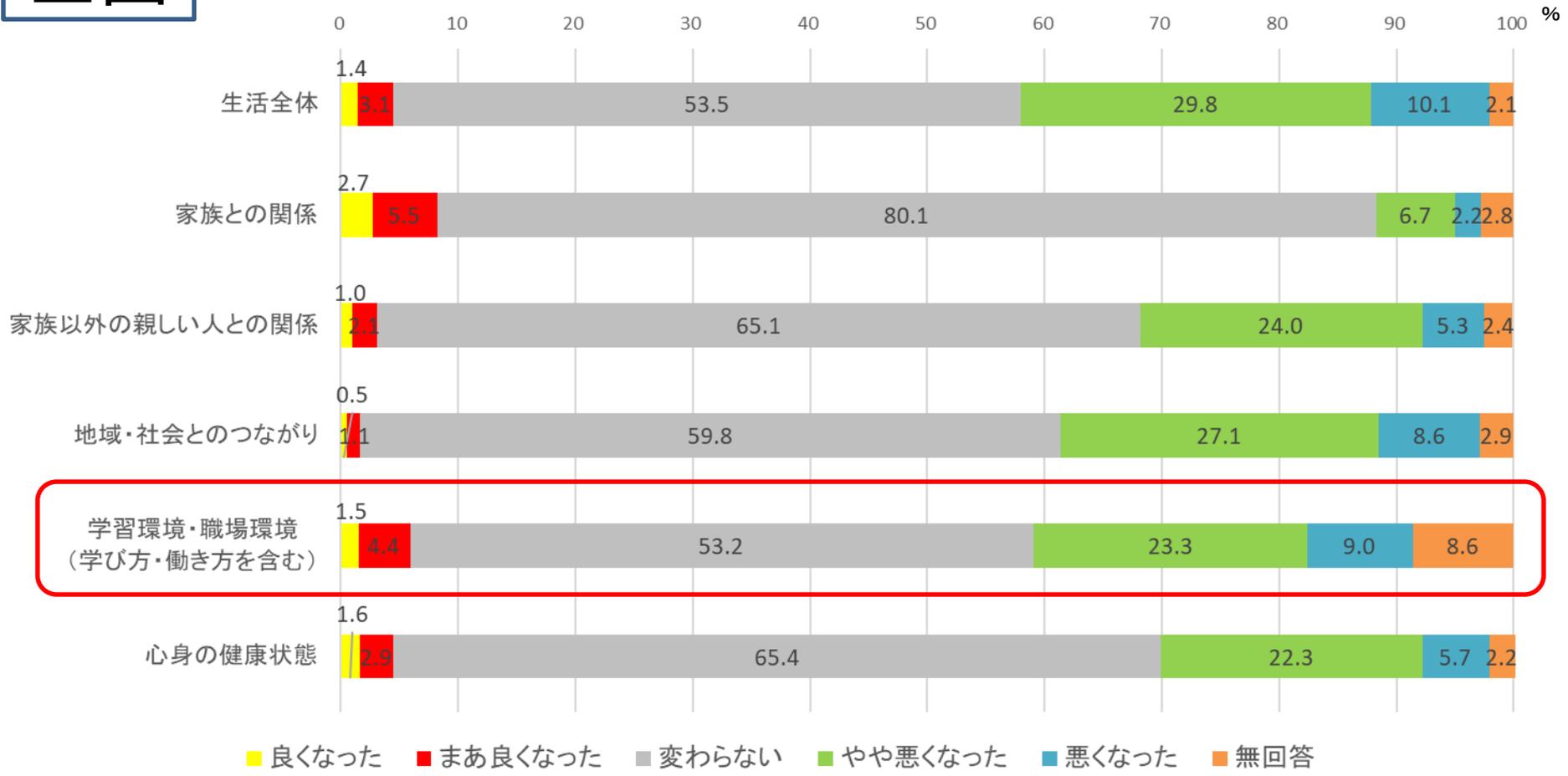
出典: 岐阜県調べ

# 資料 2 - 4 新型コロナウイルス感染症による生活の変化

- コロナ禍により対面での交流機会が減り、特に地域・社会とのつながりが希薄化している。
- 学習環境・職場環境についても、3割を超える人が悪くなったと感じている。

全国

### コロナ禍における日常生活の変化(全国)

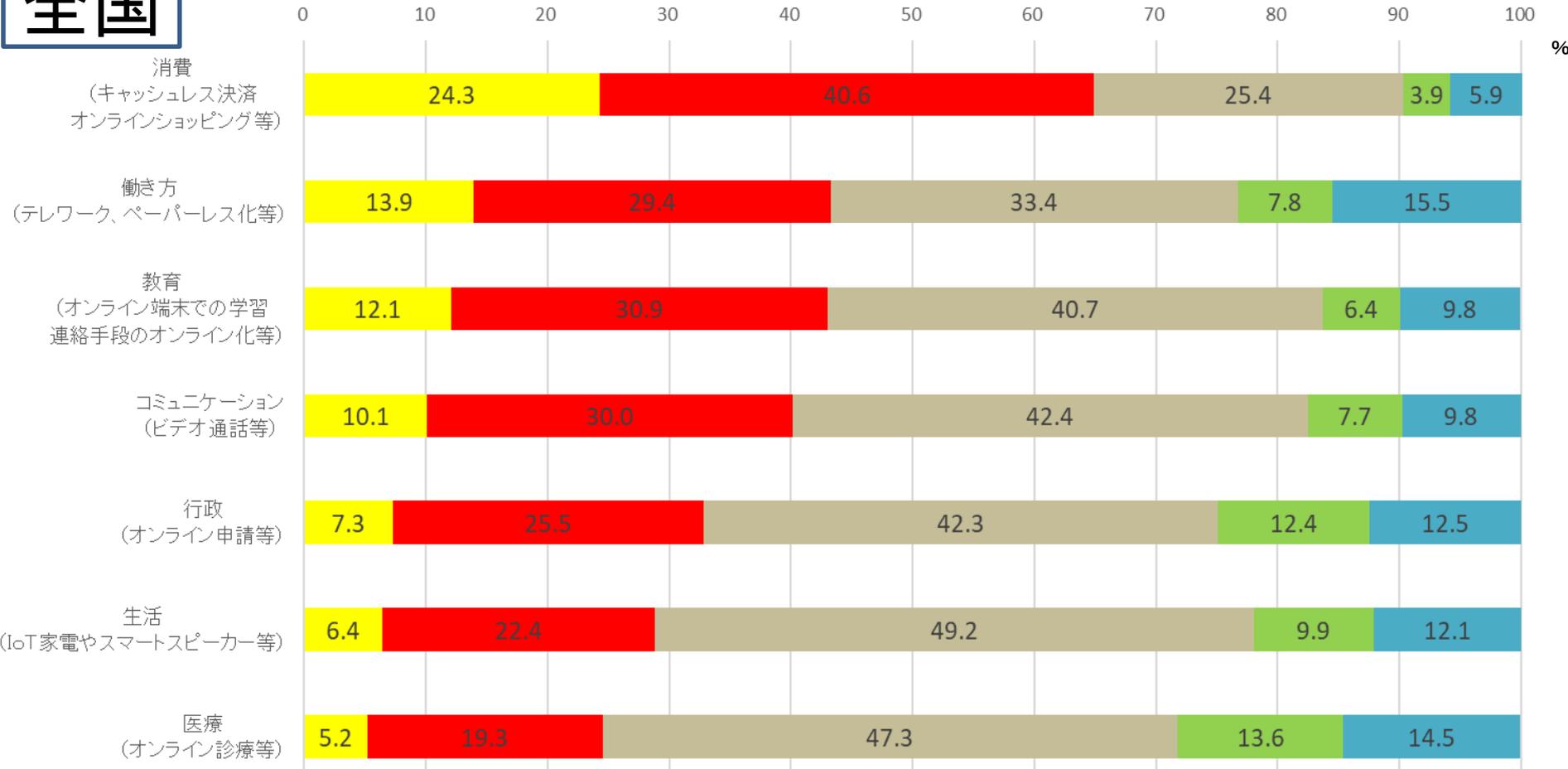


出典:内閣官房「人々のつながりに関する基礎調査」(令和4年4月)

# 資料 2 - 5 デジタル化の進展

○暮らしのデジタル化が進んでいると感じている分野は、消費で半数を超えている。  
 ○教育については、約4割が進んでいると回答しているが、進んでいると感じる人は少ない。

## 全国



※感染症拡大を契機として暮らしのデジタル化が進んだと思うか、それぞれの進捗についての考えを質問

■ 進んでいる ■ どちらかといえば進んでいる ■ どちらともいえない ■ どちらかといえば進んでいない ■ 進んでいない

出典:内閣府「第5回 新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査」(令和4年7月)

# 資料 2 - 5 デジタル化の進展 【オンライン活用ニーズ】

○コロナの感染拡大を契機に、オンラインショッピングやオンライン会議等、個人のデジタル技術の活用ニーズが高まっている。

全国



出典：内閣府「第5回 新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査」(令和4年7月)

◆感染症収束後も引き続き取り組みたいオンラインによるニーズは、一定の割合で見られ、デジタル技術の活用ができる基礎的な力を育成すること。